



和をもって

第26号

発行  
成相山成相寺

京都府宮津市字成相寺339  
TEL0772-27-0018  
http://www.nariaiji.jp/

変わっていくと  
言うこと

一気に冬がやって来た様な今日この頃、皆様方におかれましてはご健勝でお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

今年は何年より早くに過ぎていった様に思います。色々思い悩んで過ごす時間が早いのでしょうか。それとも年齢のせいでしょうか。気が付いたら冬がやって来ていました。私事ですがいよいよ、還暦を迎えます。

同級生も同様で同窓会をしようと言う話になり、このご時世なのでオンライン同窓会を開きました。三十年ぶりに見る顔もあり懐かしいと言うより、

時が過ぎてるのに変わらない関係性が嬉しく、私は満足しました。実際はコンピュータの画面であっても、話し合えた事に満足してしまいました。

成相寺ではこのコロナ禍の期間、お参り出来ない方の為に、境内の写真をフェイスブック等に掲げておりました。その写真を見た方からお電話を頂きました。

「お参りに行けなくても境内の写真や

仏様の写真を見て、行った気になれました。仏様の写真に手を合わせておられます。ありがとうございます」と、

「ああ、オンラインで友人の顔を見た私と同じだ。と思ってしまいました。こんな時代だから仕

方ない。会社のミーティングもオンラインで行っているし、大学生の生徒達も学校に行かずに授業をオンラインで受けているらしいし。

「オンライン」  
時代が大きく変わって行ってるんですね。

大学の授業も会社のミーティングも、そこに至る何か。これが今、失われているんですね。

コロナ禍の今のご時世は多くの大切な経験を奪い、それを便利と取り違える人が増えてきています。

どうしたものでしょうか。  
これが、時代の変化で、このまま慣例になるのだらと、悩みます。

残念ながら、お身体の不調や交通手段のあれこれで、お参り頂けない方もおいでの事とは思いますが。しかしながら出来れば、お寺には、直接お参り頂きたいです。夫婦づれ車であれやこれやと喧嘩しながらでも、団体のバスで乗りあつて知らない人と友人になれた

り。そんなお参りをしていただきたいですね。

昔の人は何の為に長い道のりを歩いて巡礼と言う行為を繰り返したのでしょうか。

そこにはお寺にたどり着くまでのいろいろな出会いや苦難があり、それも含めての修行であり、巡礼だったのでしよう。たどり着いた時の達成感や幸福感。これが巡礼と言うものなんだと思います。

昔の人から言わせると今の私達は歩きもしないで、なんの巡礼もお参りだ。と叱られるかもしれませんが。巡礼、お寺参りに限らず、観光も申し分ありません。テレビで見て写真で見ても、今はGoogleマップで見える事も出来ませんが。しかし、その場に立ち、空気の匂いを嗅ぐ。日常から離れて新しい何かを見つめる。

今は、出かけたくても、安心して出れない現状。  
やはり、一日も早いこの大きな災いの終息を願わずにはいられません。

もう元には戻れないものも残していくのでしょうか、変わっていく時代に取られ残されても、お寺は修行の場であること。自分に問い、仏様から何かを頂く場である事は変わらないと信じて勤めていきたいと思えます。

季節の変わり目、どうぞ皆様ご自愛くださいませ。

南無観世音菩薩 合掌

山主 弘眞

# 山内順礼

この度本堂東側回廊の改修工事が終了いたしましたのでご報告申し上げます。

成相寺本堂は「京都府指定文化財」の認定を受けておりますが、写真の通り特に回廊部分の老朽化が進み、ここ何年か悩みの種でした。そこで府の教育委員会や宮津市と何度も調整打ち合わせをした結果、京都府より文化財保護の助成金を受け、特に老朽化の目立つ東側の改修に踏み出すことが出来ました。

現在の本堂は江戸時代中期に再建されましたが、階段や手すり、大屋根の修理など幾度となく改修を繰り返してきました。写真の様に大正時代にも大掛かりな修復をしております。

また、最近では酸性雨や大気汚染で木の部分の腐食が早くなってきました。

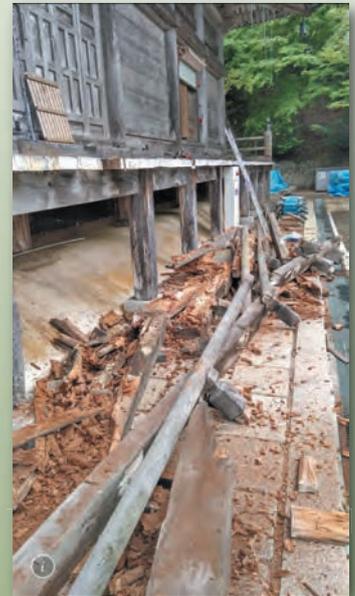
次の世代にも、この修復という大きな仕事が続いていますが、お観音様のお住まいをこれからも守り続けていきたいと思っております。



大正時代の修理



新しくなった回廊



改修工事中



裏



表

肌守り大 千円 (実物大)

来年度の星祭りから肌守りの大きさが2種類になります。  
五百円ご志納の場合は従来の大きさ、千円ご志納の場合はカード大になります。  
お申し込みの際はご確認くださいませようようお願い申し上げます。

